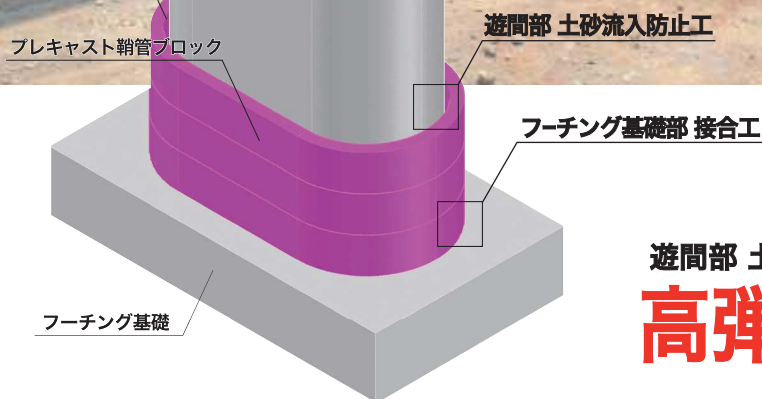


プレキャスト鞘管ブロック

さ や か ん

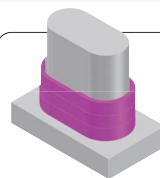
堤防を守る！



遊間部 土砂流入防止工には
高弾性接着剤 TB 使用
(タッチボンド)

▶ 特長

- 1 プレキャスト化によって大幅な工期短縮が可能です。
- 2 ブロックの接合材料は一般的なボルト・PC 鋼棒なので熟練工が不要です。
- 3 品質管理の行き届いた工場製品なので耐久性に優れています。



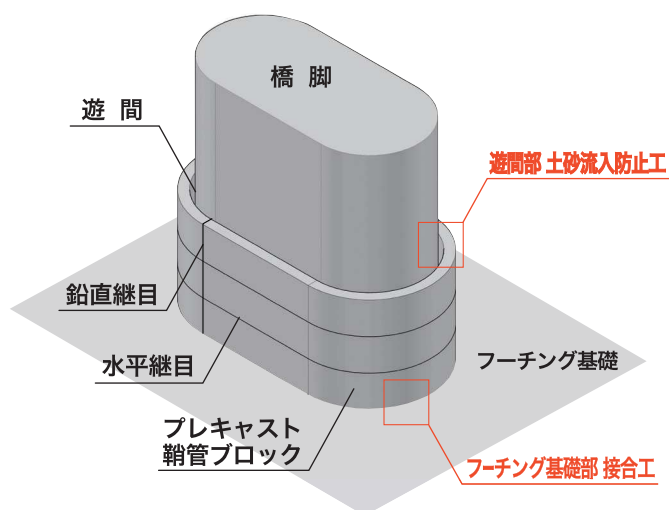
What is this ?

河川堤防への橋脚の設置は「工作物設置許可基準」(平成 6 年)によって認められていませんでしたが、同基準の改正(平成 10 年)にともない、堤防に悪影響を及ぼさないという条件付きで設置が認められることとなりました。

この改正により、大幅なコストダウンにつながる橋脚構造が可能となりました。

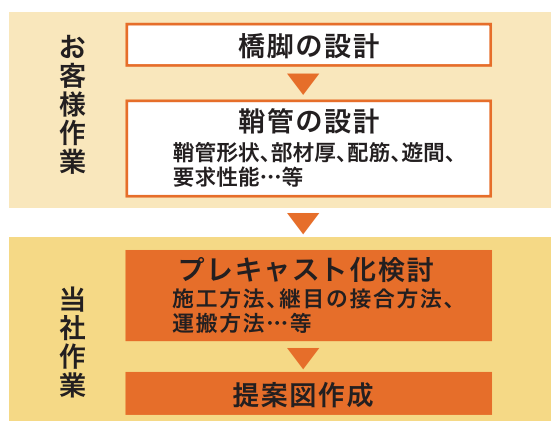
鞘管は、橋脚と堤防にすき間を作るように設置します。これにより、橋脚と堤防の振動性状の違いによる相対変位をすき間で吸収し、堤防への影響を緩和させます。

▶ プレキャスト鞘管 イメージ図



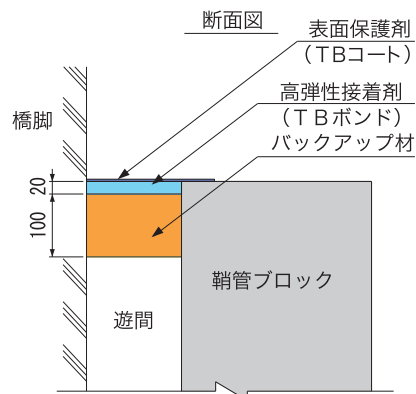
▶ プレキャスト鞘管検討フロー

鞘管の形状・部材厚・配筋・遊間・要求性能などをご提示していただければ、施工方法、継目の接合方法、運搬方法などを検討し、実現可能なプレキャスト鞘管ブロックを提案させていただきます。

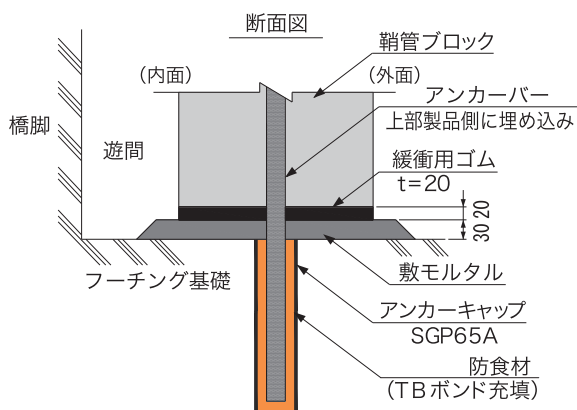


〈 接合方法の例 〉

遊間部 土砂流入防止工



フーチング基礎部 接合工 (注)



(注) フレキシブル構造(フーチング基礎と剛結させない構造)の接続方法の一例です。
鞘管の構造形式によって接合方法は変化します。

〈 施工実績 〉



外寸7.76×7.26×3.50m(奈良)



外寸8.90×5.40×6.00m(徳島)



外寸φ3.80×4.00m(茨城)